

Press Release

報道関係 各位

2018年12月18日

エクセルソフトは、Arm® アーキテクチャ ベースの SoC 向け 組み込みソフトウェア開発のためのツール スイート、 Arm Development Studio を販売開始

エクセルソフト株式会社（東京都港区）は、英 Arm 社（本社：英国ケンブリッジ、日本法人：神奈川県横浜市、以下 Arm）が提供する、Arm アーキテクチャ ベースの SoC 向け組み込みソフトウェア開発のためのツール スイート、Arm Development Studio の日本国内での販売を2018年12月18日より開始します。

■ 製品名：

- Arm Development Studio Gold Edition
- Arm Development Studio Silver Edition
- Arm Development Studio Bronze Edition

arm
DEVELOPMENT STUDIO

■ 製品カテゴリー：

ソフトウェア開発ツール

■ 製品概要

Arm Development Studio は、小さなマイクロコントローラーからカスタマイズのマルチコア プロセッサまで、Arm アーキテクチャ ベースの様々な SoC 向けに C/C++ の組み込みソフトウェア開発環境を提供します。Arm® Keil® μVision® IDE および Eclipse IDE に統合された Arm C/C++ コンパイラとデバッガ、パフォーマンス アナライザ、シミュレーション モデルなどを含みます。

ベアメタル、リアルタイム オペレーティング システム (RTOS)、および Linux ソフトウェアの開発において、ソフトウェア設計の初期段階から最終工程であるテストに至るまで、すべての開発工程をサポートし、64-bit 版デバイスとソフトウェア製品をいち早く市場へ投入するのに役立ちます。

最上位エディションである Gold Edition では、Arm の最新アーキテクチャ Armv8 を含む、すべての Arm プロセッサがサポートされます。本製品は、Windows および Linux ホスト OS をサポートします。

■ 開発のニーズに合わせて選べるエディション:

Bronze Edition:

すべての Arm[®] Cortex[®]-M をターゲットとしたプロジェクトに必要なツールを提供する基本エディションです。また Armv7 以前のアーキテクチャの Cortex-A および Cortex-R 向けのデバッグとパフォーマンス解析もサポートします。

Silver Edition:

すべての Cortex-M ファミリーおよび Armv7 以前のアーキテクチャの Arm プロセッサ向けに、Arm C/C++ コンパイラー、デバッガー、パフォーマンス アナライザー、シミュレーション モデルなどすべてのツールを提供します。また Armv8 アーキテクチャの Cortex-A または Cortex-R 向けのデバッグとパフォーマンス解析もサポートします。

Gold Edition:

最上位エディションとなる Gold Edition では、Silver Edition に含まれるすべての機能に加え、Arm の最新アーキテクチャ Armv8 や開発中のプロセッサを含む、すべての Arm プロセッサおよびアーキテクチャをサポートします。

Gold Edition を利用することで、Arm C/C++ コンパイラーで Armv8 ベースの Cortex-A または Cortex-R プロセッサ向けにコードをビルドすることができ、バイナリ コード サイズの削減や、パフォーマンスの最適化を図れます。また Arm が新機能を発表した際に、いち早く機能の検証を行い、製品の設計に反映させることが可能です。

■ Arm Development Studio Gold Edition の主な機能

コンパイル:

Arm コンパイラー 6 は、LLVM フレームワーク ベースの C/C++ 言語向けコンパイルツールです。Armv6-M から 64 bit の Armv8-A まで、すべての Arm Cortex プロセッサとアーキテクチャをサポートし、Arm プロセッサのパフォーマンスを最大限に発揮するためのソフトウェアを効率的に開発できます。

単純なベンチマークから実世界の組み込みアプリケーションにまで、広範なワークロードでコードの実行時間を短縮することに貢献しており、バージョン 6.11 では以前のものと比較して最大で 30% の向上を実現しました。またパフォーマンスの向上だけでなく、特に Cortex-M デバイス向けに、コード サイズがより小さいバイナリを生成できます。

また Arm コンパイラー 6 は、Arm による品質保証やサポートに加え、TÜV マーク (中立な第三者機関 TÜV Rheinland による安全規格に準じたライセンス) を取得しています。TÜV マークを取得済みの Arm コンパイラーを必要とする場合には別途ライセンスが必要です。詳細はお問い合わせください。

シミュレーション:

製品に含まれる仮想プラットフォーム向けシミュレーション モデルにより、プロセッサ、メモリ、および周辺機器を含む、Arm システムをシミュレーションできます。これにより、対象のハードウェアが無くとも、ベアメタルのコーディング、ソフトウェアの先行開発や自動テストが可能となり、実際のデバイスでソフトウェアがどのように実行されるのかを事前に確認することができます。

デバッグ:

Arm デバッガは、Arm プロセッサ ベースのターゲットおよび固定仮想プラットフォーム (FVP) ターゲット上のソフトウェア開発をサポートするグラフィカル デバッガです。

同期されたソースとディスアSEMBル、コール スタック、メモリ、レジスタ、式、変数、スレッド、ブレークポイント、およびトレースなどの包括的かつ直感的なビューにより、ベアメタルや Linux アプリケーションを簡単にデバッグできます。

また、マイクロコントローラー向けのデバッガおよびトレース機能を提供する Keil μVision デバッガも提供します。

パフォーマンス解析:

Arm Streamline パフォーマンス アナライザは、システム全体をプロファイリングし、アプリケーションのソースコード レベルまでパフォーマンスや消費電力を視覚的に解析します。

Linux とベアメタルの両方をサポートし、Cortex-M から最新の Cortex-A プロセッサまでパフォーマンス解析を行うことができます。また各 CPU コア、GPU ごとの性能指標やスレッドの動作の視覚化により、並列化されたコードや OpenCL アプリケーションについても解析でき、パフォーマンス ボトルネックの特定に役立ちます。

マイクロコントローラー向け開発ツールスイート、Keil MDK の機能を統合:

Arm Development Studio には、Cortex-M ベースのマイクロコントローラーをターゲットとしたプロジェクトに適したツールを提供するため、ロイヤリティフリーのミドルウェアおよびリアルタイム (RT) OS を含む、CMSIS 準拠のソフトウェア ビルディング ブロックなど、Keil MDK により提供されていた機能が統合されています。

■ 価格

価格

お問い合わせ

Arm Development Studio のライセンスは、購入から 1 年間のみ使用でき、1 年間のサポートが含まれる「年間ライセンス」です。ライセンスの種類には「ノードロック ライセンス」と「フローティング ライセンス」がございます。

既に Arm DS-5 をお持ちのお客様には、Arm Development Studio をお得な価格で購入いただける買い替えプログラムがございます。(2019 年 3 月末まで)

製品の詳細については、弊社 Web ページをご参照ください。

<https://www.xlsoft.com/jp/products/arm/index.html>

■ エクセルソフト株式会社について

エクセルソフト株式会社（東京都港区 代表取締役 永山 哲也 資本金1千万円 TEL 03-5440-7875）は、ソフトウェア開発ツールを中心に世界中の優れたソフトウェアを日本およびアジアにおいて販売しています。

コンパイラー、帳票ツール、デバイス ドライバー開発ツール、ヘルプ作成ツール、セキュリティ ソフトウェアなど幅広い製品を提供し、今日のコンピュータ ユーザーの多様なニーズに応えています。ソフトウェアの日本語および他言語へのローカライズ業務も承っています。

本プレス リリースについてのお問い合わせ先

エクセルソフト株式会社 営業部

TEL: 03-5440-7875

FAX: 03-5440-7876

URL: <https://www.xlsoft.com/jp>

Email: xlsoftkk@xlsoft.com

Arm、Cortex、Keil、 μ Vision は、米国およびその他の国における Arm Limited (またはその子会社) の登録商標です。

その他の記載された社名、製品名、機種名は、各社の商標または登録商標です。